

授業改善等に関する報告書（2022年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (前期) 教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
家庭科教育法 (2)	市毛 祐子	模擬授業では、グループごとに共通の課題に取り組むことで協働性を育むことができるよう工夫してきました。こうした取組を通して、皆さん自身、多くの気づきや学びがあったのではないのでしょうか。今後も皆さんの学ぶ意欲を高め理解が一層深まるよう、説明の仕方やプレゼンテーション、配布資料のわかりやすさを心がけ授業の工夫・改善をしていきます。皆さんもこの授業で得たことを生かし、これからさまざまな場面で納得のいく授業ができるよう、更なる飛躍を目指し、貪欲に学び続けてください。
教育原理	清田 夏代	授業評価の結果については、概ね納得している。今後も授業内容の改善を図っていきたい。
教育実習 A	市毛 祐子	教育実習の円滑な実施に向けて、教育現場の様子や事例等を取り入れる工夫をして、できるだけイメージが湧くように授業を進めてきました。また、教育実習の期間はそれぞれ異なるため資料の配布等についても配慮をしてきました。今後も、最新の教育動向等を踏まえつつ内容を精選するなどして、皆さんの学びが一層深まるようプレゼンテーションや配布資料のわかりやすさに心がけた授業の工夫・改善を進めていきます。
教育実習 A	清田 夏代	授業評価の結果については、概ね納得している。今後も授業内容の改善を図っていきたい。
教育実習 A	中村 一哉	教育実習に向けての具体的な準備を進めるとともに、それぞれが体験してきた教育実習の内容を、相互に発表し合うことで、成果や課題の共有化を図り、これまでの教職課程の学びを実感を伴って総括していく流れで授業を構成しました。誰もがとても密度の濃い発表をしてくれたことで、学びの深まりが感じ取れました。また、後期に実習を予定している人にとっては、とてもよいシミュレーションの機会になったと思います。今回の学びは、後期の教職実践演習において、引き続き発展させていくこととなります。
教育実習 B	清田 夏代	授業評価の結果については、概ね納得している。数値の低い部分は今後改善していききたい。
教育制度	清田 夏代	授業評価の結果については、概ね納得している。今後も授業内容の改善を図っていききたい。
教職研究 a	中村 一哉	受講者1名ではありましたが、現在の教育時事の問題について、毎回、対話を通して考え、深めていく授業を進めることができました。中には、教職の授業でまだ学んだことのない内容もあって、難しいと感じたこともあったと思いますが、逆にそれを新鮮に捉えて、最後まで学び通した姿勢は素晴らしいと感じています。今後の教職の授業を通して、今回の授業で学んだ課題等について、さらに深めていってほしいと思います。
教職研究 d	柏崎 秀子	すべての項目が最高値になっていて、ただただ驚くばかりです。受講者にとって、それほどに充実した学習だったと認識してもらえたなら、教員としてこの上ない誉れです。少数精鋭の学習者主体の授業でしたし、結局、一人だけになったため、かなり負担が大きかったのでは、と気がかりでしたが、終盤まで実に熱心に取り組んでいましたし、教員もそれに応えたいと思って、もっと頑張りました。個別指導状態になってからは、授業内容だけでなく、学習の仕方や個別相談事項などにも対応することになりましたが、学生さんの様子が4月の時点とは大きく変わったように感じられ、前向きにかなり変化してくれたことをうれしく思っています。これからもこの姿勢で様々な学習や人生の課題に取り組んでいってほしいと願っています。教員も学生一人一人に寄り添うことの大切さに、改めて気づくことができた授業で、今後もその姿勢で臨みたいと思っています。
教職入門	市毛 祐子	教職の意義やこれからの学校教育の在り方等、さまざまな角度から授業を進めてきました。積極的に自分の考えを発言したり、まとめたりするなど意欲的に取り組む姿勢は素晴らしかったです。また、グループ研究を通して共通の課題に取り組むことで、皆さん自身が、理論はもとより、多くの気づきや学びを得たのではないのでしょうか。今後も、皆さんの学びがより一層深まるよう、最新の教育の動向やトピックを取り上げながら、資料の提示の仕方や授業の進め方等について工夫・改善をしていきます。皆さんもこの授業で得たことを生かし、夢の実現に向けて、貪欲に、そして楽しみながら学び続けてください。
児童・生徒栄養教育論 (1)	白尾 美佳	栄養教諭や学校栄養職員としての学びの第1歩です。後期につながる科目ですが、子どもたちの食に関する考える力を引き出すような学びがあったらよいかと思います。

[2022 (前期) 教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	中沢 辰夫	教職課程の必修科目であるので、義務感的な講義になるような印象を学生がもたないように、学生自らが意欲的に、調べ学習を深めるような教材を動画や様々なメディアから収集することを工夫してきた。それがアンケート結果に反映されているように感じる。(特に設問の7, 8, 15, 16) 予習・復習などに割く時間について、当該科目平均の数値が少なめであるのは今後の課題と考える。
発達・学習理論	宮脇 郁	<p>今期は全面的に対面での開講となりました。しかしコロナの感染拡大防止のために、グループワークは実施しませんでした。このため「オンデマンドでもいいのでは」という意見もありました(自由記述の回答)。開講の形式は大学の方針で決まり、今後も対面で行う予定です。コロナの感染状況も考慮に入れつつ、対面で行うことをもう少し生かした授業の進め方を考えたいと思います。</p> <p>できるだけわかりやすい授業を心がけていますが、おおむねわかりやすかったようでよかったです(設問7)。これからもできるだけ具体例をたくさん挙げて、理解度を高めるようにしたいと思います。</p> <p>授業を「聞いておしまい」にせず、教育や自分の学びに生かしてもらうために、毎授業後に「今回の授業で学んだことを教育に生かすにはどうすればよいか」ということを考えて提出してもらいました。受講生の皆さんにとっては大変な作業だったと思いますが、多くの人の回答は目に見えて向上していきました。自由記述でも、理解を深めるのに役立つという意見が得られました(一部の人のみですが)。今後も続けていくつもりです。</p> <p>半期の間ありがとうございました。</p>
発達・学習理論	柏崎 秀子	<p>おおむね平均程度の結果でまあまあ程度だったかなと思いましたが、成長の実感の所で、実に多くの皆さんが発達や生徒・教師の関係などについて理解が深まったり興味深かったと、書き込んでくれていて、この授業の目標に到達できた喜びを感じました。</p> <p>また、進め方については、身近な具体例による説明がわかりやすいと感じてくれたり、問いを解くことで自分で考えることが増えたり、予習する習慣が身に付いたり、この授業の進め方を肯定的に感じてもらったことがわかり、今後もこの授業の進め方を続けていこうと思いました。</p> <p>なお、教室環境として、椅子の座り心地の悪さが述べられていましたので、大学側に検討していただけたらと思います。</p>
発達・学習理論	柏崎 秀子	<p>どの項目も平均を上回る結果となり、安心しました。</p> <p>特に、双方向の工夫や理解度の高さ、そしてわかりやすさなどが高得点でしたし、何より、学生さん自身が高い満足度を感じて、実に意欲的に取り組んだと認識できていることが教員として、やりがいを感じました。</p> <p>自由記述にも、予習復習でよく理解できたり、説明のわかりやすさで理解が深まったりと、この授業の進め方を肯定的に感じてもらったことがわかり、今後もこの授業の進め方を続けていこうと思いました。</p>
発達・学習理論	柏崎 秀子	<p>どの項目も平均以上の結果となり、安心しました。</p> <p>特に、説明のわかりやすさ、パワポ・配布資料のわかりやすさ、声の聞き取りやすさが高得点となり、学生の皆さんにとってわかりやすい授業となっていたと知り、とてもうれしく感じています。</p> <p>また、自由記述でも、実に多くの皆さんが成長の実感を書き込んでくれていて、感激しました。</p> <p>学習した諸理論を自分自身に置き換えて具体的に理解できたり、教師の立場から捉える観点を認識したり、広く発展させて実生活にも活かせると感じてくれたりと、実に前向きに捉えてくれていて、やりがいを感じました。</p> <p>さらに、説明が身近で具体的な例をあげたことでわかりやすかったり、受講生同士で話し合っって意見を共有する機会が多くて楽しく学べたなど、この授業の進め方を肯定的に感じてもらったことがわかり、今後もこの授業の進め方を続けていこうと思いました。</p>
発達・学習理論	柏崎 秀子	<p>どの項目も平均以上の結果となり、安心しました。</p> <p>特に、説明のわかりやすさ、パワポ・配布資料のわかりやすさ、声の聞き取りやすさが高得点となり、学生の皆さんにとってわかりやすい授業となっていたと知り、とてもうれしく感じています。</p> <p>自由記述でも、教師の目線を知ったり、理論の理解はもちろんのこと、自分自身のこれまでの成長過程を再認識したりと、この授業の目標に到達できていたようで、一層うれしい限りです。</p> <p>また、身近な具体例による説明や、話し合いの時間など、この授業の進め方をプラスに感じてもらったようで、今後もこの授業の進め方を続けていこうと思いました。</p>
美術科教育法(2)	中村 一哉	<p>美術科教育法(2)では、授業の計画から実際に向けて、前半は実技の演習も取り入れながら授業づくりの視点を整理し、後半は、その経験を踏まえて指導略案の作成と模擬授業を行いました。新しい学習指導要領に基づく授業では、生徒が表現や鑑賞の活動を通して、資質・能力を身に付けることが重要となります。自らが経験してきた授業をモデルにするのではなく、美術を通してどのような力を育むのかを再度確認して美術科教育法(4)へとつなげてほしいと思います。</p>